

留学ガイド

Study Abroad Programs 2011

国際センター

Contents

ページ

◆Welcome to Study Abroad	1
◆留学を成功させるための姿勢	3
◆海外留学の歴史と現状	4
◆海外留学のステップ	5
◆長期・中期期留学の内容	6
◆留学プログラム一覧（長期・中期期留学）	9
◆短期期留学の内容	11
◆留学プログラム一覧（短期期留学）	13
◆留学支援	25
◆留学のための語学能力試験	26
◆2011年度 TOEFL-ITP®実施スケジュール	26
◆海外協定大学一覧	28



Welcome to Study Abroad!

Phillip R. Morrow
Director, International Center



Nagoya Gakuin University has an extensive range of study abroad programs in a variety of places as you can see from this brochure. The study abroad programs have long been an important part of university education at NGU, and over the years more than a thousand students have participated in them.

Students who have studied abroad have found it a very rewarding experience. Through the study abroad programs they have made new friends and have experienced a new culture from the inside, while at the same time improving their foreign language skills. From their study abroad experiences they will have precious memories that will remain with them for the rest of their lives.

But one point that must be stressed is that these are not sightseeing tours. What you learn while studying abroad depends on you. To gain the most from studying abroad, you must begin with the right attitude. That means that first of all you should be open to new ideas and different lifestyles. Living in a foreign country is challenging: You will be eating different kinds of food and will be living far away from your family and friends and surrounded by people who speak a different language and may have very different ways of thinking. You do not necessarily have to like everything, but you must be ready to accept things that are different from what you are used to. And instead of seeing these things as problems, look at them as challenges and opportunities.

It is also important to remember that the main purpose of the study abroad programs is to improve your foreign language skills. This is not something that happens automatically by being in a foreign environment. You will improve your foreign language skills only by practicing actively and studying hard while studying abroad.

This brochure contains much useful information about our study abroad programs. Please read it carefully and choose a program which meets your needs as a learner. I strongly recommend these programs to you, and I am sure that if you participate in one of them you will have an experience that is rich and rewarding in many ways.

留学の世界へようこそ！(日本語訳)

国際センター長 フィリップ・R・モロウ

名古屋学院大学では、この冊子で紹介されているように様々な地域で多種多様な留学プログラムを実施しています。留学は、これまで変わらず本学の大学教育活動の重要な部分であり、ここ数年でも1,000名以上の学生が参加してきました。

参加した学生さんにとって留学はたいへん貴重な体験になっています。外国語力を伸ばすと同時に、新しい友人ができ、新しい文化を内側から体験することができる留学体験は一生忘れることができないものとなるでしょう。

一つ重要な点は、留学は観光旅行ではないということです。留学中に何を学ぶかは皆さん次第です。留学から最も多くを得るためには、まず留学に対して正しい姿勢で臨むことから始めなければなりません。これは、まず第一に新しい考え方や異なる生活様式に対して心を開いて接することです。外国で暮らすということは挑戦することでもあります。今までとは違ったものを食べ、家族や友人からは遠く離れ、異なった言葉で話す、ひょっとすると考え方も全く異なる人々に囲まれて生活することになります。すべての事を好きになる必要はありませんが、今まで慣れ親しんできたこととは異なるものを受け入れる心の準備をしておくことは必要です。そしてこれらを「問題」として捉えるのではなく、「挑戦」と「機会」として捉えてください。

また、外国留学の第一の目的は語学力の向上だということも忘れないようにすることも重要です。外国にいれば自動的に語学力が身につくというものではありません。留学中は積極的に練習し、勉強に励んで初めて上達することができます。

この小冊子には海外留学制度についての有用な情報を掲載しています。注意深く読み、学習者としての自分のニーズにあったプログラムを選択してください。私は皆さんにこれらの留学プログラムを強く推奨します。また、留学プログラムに参加した皆さんが、豊かで価値ある体験が得られることを確信しています。



留学を成功させるための姿勢

大学院外国語学研究科長・教授 赤楚 治之

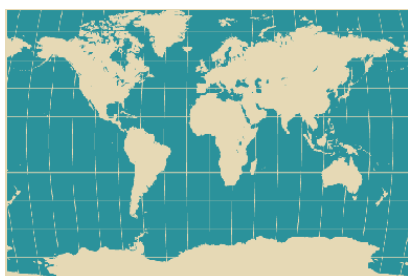


何年か前の報告書で、今の NGU 生にとって、留学というものが自分探しの意味を持つものであるということを書いたことがあります。今でも僕は留学のもつその意義は非常に重要であると考えていますし、本学が提供する各種の留学が、自分を見つめなおすきっかけとなったと話してくれる学生も多くいることも確かです。ただ、最近の学生を観察していると、どうも気になる点が目立つようになってきました。留学は自分の思い描くような環境であるべきだという妄想です。

そのような妄想を持つ学生を観察していると、彼（女）らから、これまでは聞かれなかったクレームを耳にするときがあります。「留学先に到着したが、その後ほっておかれた。」「留学生なのだからもっと手厚くケアされるべきだ。」「日本では学べないことを勉強しにきたのに、レギュラーのコースがとれないのはおかしい。」「ESL で高校の復習をやりに来たのではない。」「日本人が多いので英語の練習にならない。」などのこの種のクレームです。これらのクレームの根底に流れている姿勢がわかりますか？もっと自分のためにやってくれ、自分が納得できる環境を整えてくれという姿勢なのです。このような考え方は「甘え」と呼ばれるものなのです。はっきり言えることは、このような「甘え」の姿勢を持っているかぎり、留学は成功しませんし、そのような姿勢の学生は実際に留学に不満を残して帰国してきます。自分の思い描いていた留学ではなかったわけです。

確かに留学は「しんどい」ものです。日本で、何の苦労もない恵まれた環境の中で生活しているのに、そんな「しんどい」ことを経験するために、わざわざ、時間とお金をかけて外国にでてゆくのですから、留学は成功するものでなければならない。そう考えるのは当然であると思いますし、何とか、留学を成功させたいと考えるのは重要なことです。しかし、そのためには、本人が与えられた環境を最大限に利用するという積極的な姿勢が何よりも不可欠なのです。日本人が多いと嘆いてもその時点ではどうすることもできません。それで拗ねていても何ら状況が好転するわけではありません。外国人の友達を作るか、クラス以外でも日本人同士で英語を使いましょう。休日にモールへ出かけて座っているお年寄りに話しかけるのも立派な練習です。高校で勉強したわかりきったことを授業でやっていると思うなら、手持ち無沙汰にしている授業時間中に、その知識を運用面に活かせるように口を動かして練習するとか、ノートに他の単語や表現を用いて練習するとか様々な方法があるはずですが、もちろん、先生に相談することは重要ですが、どのような戦略でその状況・環境を好転させていくかを positive に考えていく姿勢が何よりも必要なのです。

どうか、留学から帰ってきて目を輝かせている先輩たちと話してみてください。留学を成功させた彼（女）らと接すると、彼（女）には共通した姿勢（ものの見方）があるということが自然とわかるはずですが、そしてそれが留学を成功させるための姿勢なのです。



本学の海外留学の歴史と現状

名古屋学院大学は、アメリカのメソジスト・プロテスタントから日本に初めて派遣されたフレデリック・Cクライン博士が1887年（明治20年）に創立した名古屋英和学校をその前身とし、名古屋中学・高校と発展した後1964年に開学しました。外国語や国際ビジネスを中心とする国際人教育に力を注ぎ、国際性豊かで自立した人材の育成を目指し海外諸大学との交流を進めてきました。

本学がキリスト教メソジスト派の伝統を持つことから、1967年度にアラスカ・メソジスト大学（Alaska Methodist University）へ大学として最初の留学生を派遣し、以来、学生の交換を積極的に推進しており、現在はアメリカ、カナダ、イギリス、中国、台湾、韓国、タイ、フィリピン、オーストラリア、ニュージーランド、マレーシア、ラオス、ポーランド等の約70以上の大学と短・中・長期留学や海外フィールドワーク、海外インターンシップ、国際ボランティア等を通じて国際学生交流を行っています。

1989年に外国語学部と留学生別科（日本研究プログラム）が設置された後は、国際学生交流が活発になり、国内において国際交流の実績のある大学の一つとして高い評価を得てきました。大学開学以来45年以上の間、多数の学生を中・長期留学生として海外に派遣し、一方で様々な国・地域から留学生を受け入れてきました。また、短期留学（2週間～2ヵ月）（海外フィールドワーク、インターンシップを含む）をアメリカ、カナダ、中国、韓国、イギリス、タイ、フィリピン、ニュージーランド、オーストラリア、マレーシア、シンガポール、ポーランド、ラオス等で実施してきました。参加学生の多くは、その貴重な体験を生かし、卒業後も国内外を問わず国際舞台で目ざましい活躍をしています。

2010年度は長引く不況の影響で留学を控える学生さんも多くいましたが、アメリカ・韓国・中国・台湾・タイ・フィリピン・ニュージーランド・オーストラリア・カナダへの長期（約1年間）あるいは中期派遣留学生（約5ヶ月～半年間）合計79名を派遣しました。また、短期留学（約2週間～2ヵ月間）では、春・夏のアメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、タイ、台湾、中国、韓国、ラオス、ポーランドへの14のプログラム等で合計約100名の皆さんが留学を体験しました。

名古屋学院大学国際センターでは留学を希望する学生のために留学情報の提供、インターナショナル・ラウンジ（i-Lounge）での課外語学教育プログラム等の実施、留学希望者の募集説明、TOEFL-ITP試験、TOEFL/アカデミック・スキルズ講座その他の語学講座の実施、GTA、TAAによる語学力向上と留学に向けてのアドバイス、本学の外国人留学生との交流活動、留学に向けてのさまざまな手続き（留学先校への願書提出、入学許可書取得、ビザ取得、航空券購入、入寮・ホームステイ手続き、健康診断・予防接種、持ち物の準備等）についてオリエンテーションや個別ガイダンスをとおして一人ひとりの留学希望学生をきめ細かくサポートしています。

20才前後の感受性豊かな時に海外での留学生活を経験することは、単に語学力の向上のみならず異文化の中でそれまでとは異なる新しい価値観に触れ、今までの自分の枠組みを超えたより寛容で弾力性をもった思考ができる自分を創造していくことに繋がります。本学の充実した留学制度を活用し、他では得られない貴重な体験を一人でも多くの方が学生時代に経験し、人間力を高めることができることを願っています。



海外留学のステップ

Step 1 留学プログラムの選択と留学計画立案

留学は留学を思い立った時点から始まります。留学の目的を明確にし、自分の目的に合ったプログラムを選択しましょう。留学先、期間、内容、費用、単位認定などについて本ガイド、募集要項、その他資料等で調べ、国際センター、教務課、i-ラウンジ、留学に関わる教職員、あるいはこれまでに留学に参加した学友などに話しを聞き、留学プログラムについての理解を深めましょう。留学するにあたっては、その計画段階から保護者の方とも情報を共有し、よく相談をして理解を得ることが重要です。

長期・中期留学を目指す場合は NGU での履修スケジュールを具体的に鑑みた上での留学先での単位取得計画の作成が必要になります。目指す留学プログラムが決定したら、そのプログラムへの参加の選考基準を満たすように、早い段階から準備を始めましょう。まず留学に耐える語学力を養うことが絶対条件です。普段の語学の授業をしっかりと受講し力をつけるのは勿論のこと、学内でほぼ毎月実施される TOEFL 試験や中国語圏留学希望者は中国語検定や HSK を受験したり、スピーチコンテストなどに果敢に挑戦し、さまざまな機会を活用して実力を養うことが大切です。留学希望者の多くが利用する「i-ラウンジ」にも是非足を運びましょう。

Step 2 申し込み・準備

参加希望プログラムの申し込み時期を確認し、「募集の概要」等を熟読した上で募集期間内に国際センターに必要書類を提出します。それぞれの申請用紙は国際国際センター備え付けてあるので、それに必要事項を記入・捺印の上、必要書類を添付して提出します。

Step 3 派遣の決定・内定通知

選考の結果、留学参加が認められた内定者には教授会での正式決定前に内定通知を発送します。内定通知を受け取ったら、パスポートの取得手続を速やかに行ってください。留学にあたって数回実施されるオリエンテーションの日程や作成書類等についても同時にお知らせします。出発までの時間を無駄に過ごすことがないように、留学決定後は特にそれまで以上に語学力の習得に励みましょ

Step 4 留学オリエンテーション・留学準備

各プログラムにつき、数回のオリエンテーションを行います。プログラム詳細の説明や準備しなければならぬことを説明しますので、必ず参加してください。また、留学先大学への提出書類、ビザ取得のために必要となる書類の作成等を行います。(アメリカの大学へ留学する場合には、短期留学、中長期留学にかかわらず、留学ビザを取得するために大阪のアメリカ領事館で学生本人が面接を受ける必要があります。)

留学出発前にはオリエンテーションや国際センターで説明を受けた事柄を確認し、パスポート、クレジットカード、トラベラーズチェック等貴重品やその他の携行品を点検し出発に備えます。また、集合場所・時間を再確認し、間違いがないようにします。オリエンテーションで説明した内容で、必要な内容については皆さんから保護者の方へ確実に伝えるようにしてください。

Step 5 留学中

留学先でのオリエンテーションに必ず出席し、長期・中期留学生は履修登録等手続を済ませます。留学中の勉学や生活上の質問・相談はまず引率者(短期留学)や留学先のアドバイザーに相談してください。現地でどうしても解決できない問題が発生したときは本学国際センターに相談してください。

留学先の寮の部屋番号や電話番号、住所、ホームステイ先などの電話番号が判明したらすぐに家族と国際センターに連絡してください。また、長期・中期留学生は学期・月例報告書、単位振替申請書(長期留学の一学期修了時点)等を定められた要領で提出してください。

Step 6 帰国後

帰国後は速やかに国際センターに報告するとともに、単位振替等の諸手続を行います。また、留学報告書等の提出も行います。帰国後も留学期間を振り返り、留学中の貴重な体験や学んだことを将来に繋げられるよう継続して勉強を続けてください。

長期・中期留学の内容



「長期留学」とは、本学協定大学での約1年間（2学期間）、「中期留学」は、本学協定大学での約半年（1学期間）の留学プログラムとなります。留学期間は本学在学期間として認められ、また留学先で取得した単位は申請により本学卒業単位に振替認定されるので、基本的に4年間で卒業することが可能です。

◆ 留学先での学習

アメリカ・カナダ・オーストラリア・フィリピン・タイ等の留学大学においては ESL*1 の総合的な英語学習に参加したり、現地学生と共に学部の教養科目や専門科目を受講することになります。中国の留学先大学においては漢語進修コース*2 で総合的な中国語コミュニケーション能力を習得します。

*1 ESL (English as a Second Language)

留学生など、英語を母語としない人のための英語集中コース。能力別クラス編成、10人ほどの少人数クラスで、Reading, Writing, Communication 等を週20～25時間、総合的・集中的に学びます。

*2 漢語進修コース

基礎から上級まで第2言語としての中国語の教育を行う語学コース。能力別に少人数クラスで、口語、基礎漢語、聴力、写作、精読等の授業を受講します。中国コミュニケーション学科の長期、中期、短期留学生はこれらのコースを受講します。

◆ 派遣先大学の授業料等の免除

本学の学費を納入することにより、留学先の授業料は免除されます。寮費（部屋代）は留学先により支払い免除となる場合がありますが、基本的に自己負担です。なお、食費、旅費、保険料その他個人的費用は各自で支弁します。

*各協定校の概要、免除項目については、「海外協定大学（抜粋）」（別掲）を参照してください。

◆ 留学奨励金

本学から留学奨励金が支給されます。金額については、別掲の「学部・学科別内容」を参照してください。

*日本学生支援機構の留学奨学金受給予定者には本学の留学奨励金は重複して支給されません。

◆ 留学期間と種別

【長期留学】

留学期間は1年以内で、留学期間は本学在学期間として認められます。

* 外国語学部生で長期・中期交換留学生に選抜された場合、中期私費留学を併用し、最長2年の留学が可能です。また、長期（中期）交換留学の他に、長期（中期）私費留学制度もあります。

【中期留学】

留学期間は1学期間で、この期間は本学在学期間として認められます。

* 中期交換留学生に選抜された場合、次学期は私費留学生として留学期間を1学期間延長することができます。

◆ 単位振替

留学先での取得単位は、本学卒業単位に最大44/年(22/学期)単位まで振替が可能です。

◆ 宿舎

留学先では原則として学内の寮で生活します。2人部屋が基本です。カナダ、オーストラリアへの長期（中期）留学では現地家庭でホームステイをすることができます。



【長期派遣交換留学生の選考について】



アメリカ・カナダ・フィリピン・タイ (長期留学)

- 選考 時期：1年次（原則） 1～2月
方法：面接試験と学内で実施する TOEFL 試験の得点、学業成績（GPA）、履修状況等を総合的に審査します。
- 長期交換留学生は TOEFL-ITP 520点以上(外国語学部)、500点以上(経済・商学部)の取得を目指してください。
- 当該年次までの学部必修科目は、原則としてすべて履修済みでなければなりません。



オーストラリア (長期留学)

- 選考 時期：2年次（原則） 7月
方法：面接試験と学内で実施する TOEFL 試験の得点、学業成績（GPA）、履修状況等を総合的に審査します。
- 長期交換留学生は TOEFL-ITP 550点以上の取得を目指してください。
* 交換学生であっても、オーストラリアの派遣先大学が求める英語力が不足する場合には、実費で大学付属の英語学校で学ばなければなりません。
- 当該年次までの学部必修科目は、原則としてすべて履修済みでなければなりません。



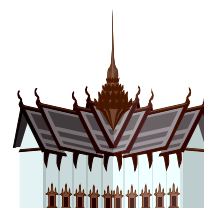
中国 (長期留学)

- 留学期間 原則2年次8月～3年次7月 約1年間
- 単位振替 最大44単位まで振替が可能

- 選考 時期 2年次（原則） 4月
方法 学科必修科目、外国語科目の単位取得状況、HSK、中国語能力試験、スピーチコンテスト等の成績と学業成績を総合的に審査します。

韓国・台湾 (長期留学)

- プログラム参加には、韓国/台湾の大学で支障なく留学生活を送ることができる語学力と学力が必要です。面接試験等を行い総合的に選考します。通常、当該地域への短期留学参加者が対象です。



【中期派遣交換留学生の選考について】

アメリカ・カナダ・フィリピン・タイ (中期留学)

- **選考** 時期：1・2年次（原則） 1～2月
方法：面接試験と学内で実施する TOEFL 試験の得点、学業成績（GPA）、履修状況等を総合的に審査します。

- 中期交換留学生は TOEFL-ITP 500点以上(外国語学部)、480点以上(経済・商学部)の取得を目指してください。
- 当該年次までの学部必修科目は、原則としてすべて履修済みでなければなりません。

韓国・台湾 (中期留学)

- プログラム参加には、韓国／台湾の大学で支障なく留学生活を送ることができる語学力と学力が必要です。面接試験等を行い総合的に選考します。通常、当該地域への短期留学参加者が対象です

中国 (特別留学プログラム)

中国コミュニケーション学科 1 年生のみを対象とした留学プログラムです。中国夏季短期留学（約2週間）に参加し、そのまま現地に残って本中期留学プログラムに参加します。このため、中国の大学での留学環境にスムーズに適応することができます。短期留学部分（8 月）の留学先授業料は個人負担となりますが、中期留学部分（9 月～1 月）の留学先授業料は本学が負担するため、参加者は免除されます。（本学学費は通常通り納付していただきます。）渡航時および帰国時は、引率者が同行し、学期の途中で本学教員の現地指導も行います。

- **募集締切** 1 年次 5月
- **派遣人数** 15名
- **留学期間** 1 年次 8月～1月
- **単位振替** 最大 22 単位まで振替が可能。
- **選考** 時期：1 年次 5月



【中期私費留学生について】

留学期間と単位振替

留学期間は 1 学期間で、この期間は本学在学期間として認められます。また、承認を得られれば、さらに通算 1 年間までの私費留学期間延長も可能です。私費留学先で取得した単位は、申請により 22 単位／学期を本学卒業単位として振替認定しますので、4 年間で卒業することが可能です。

（休学留学をした場合は、単位振替ができません。また休学期間に応じ卒業が延期になります。）

留学費用

私費留学先により異なります。私費留学の場合、留学先大学の学費はすべて個人負担となります。なお、本学学費についても通常通り納付いただくことにより留学先大学での取得単位を本学卒業単位に振り替えます。

※ 選考基準は学部学科、プログラムにより異なります。中期私費留学生募集要項等で確認してください。

留学プログラム一覧



☆ 長期・中期留学 ☆

外国語学部

【長期留学】

種別	学科	留学先	派遣人数	派遣時期	申込締切	必要経費*
交換留学 公費留学	英米語/ 国際文化協力	アメリカ・カナダ (海外協定大学)	約6名 含 JASSO	2年次8月 ～3年次5月	1年次 1月	約80万～ 110万円
		オーストラリア (海外協定大学)	若干名	2月～ 12月	1、2年次 7月	
	中国コ	中国 (海外協定大学)	約4名 含 JASSO	原則2年次9月 ～3年次7月	原則2年 次4月	約80万円
	国際文	フィリピン (海外協定大学)	若干名	2、3年次 6月～翌3月	1、2年次 1月	約80万～ 90万円
私費留学	英米語/ 国際文	海外協定大学	若干名	8月～翌5月	1～3年次 1月	約130万円 ～200万円
認定私費 留学	英米語/ 国際文化協力	教授会の 認めた大学	若干名	8月～翌年5月 (原則)	1～3年次 1月	約130万円 ～200万円

* 必要経費は留学先大学授業料（交換留学は免除）、寮費またはホームステイ費用、食費等生活費、渡航費を含んだ概算ですが、派遣先や生活の仕方その他の条件により異なります。

【中期留学】

種別	学科	留学先	派遣人数	派遣時期	募集時期	必要経費*
交換留学	英米語/ 国際文化協力	アメリカ カナダ (海外協定大学)	約15名	2年次8月 ～12月	1年次1月	約60万円 ～80万円
			約10名	3年次8月 ～12月	2年次1月	
特別留学 プログラム	中国コ	中国 (南開大学)	約15名	1年次8月 ～翌1月	1年次5月	約30～ 50万円
私費留学	英米語/ 国際文化協力	アメリカ ニュージーランド カナダ他	各大学 若干名	2～4年次 2月～5月 8月～12月	各学年 10月、1月	約100万円 ～130万円
	中国コ	中国 (海外協定大学)	各大学 若干名	2～4年次 2月～7月 8月～翌1月	1年次10 月2～3年 次4・10月、	約60万円 ～80万円

* 必要経費は留学先大学授業料（交換留学は免除）、寮費またはホームステイ費用、食費等生活費、渡航費を含んだ概算ですが、派遣先や生活の仕方その他の条件により異なります。

経済学部

【長期留学】



種別	学部	留学先	派遣人数	派遣時期	募集時期	必要経費*
交換留学	経済	アメリカ カナダ (海外協定大学)	経商計 約5名 含 JASSO	2,3年次8月 ～3,4年次5月	1,2年次 1月	約80万～ 110万円
私費留学	経済	アメリカ カナダ (海外協定大学)	若干名	2,3年次8月 ～3,4年次5月	1,2年次 1月	約130万～ 200万円

* 必要経費は留学先大学授業料（交換留学は免除）、寮費またはホームステイ費用、食費等生活費、渡航費を含んだ概算ですが、派遣先や生活の仕方その他の条件により異なります。

【中期留学】

種別	学部	留学先	派遣人数	派遣時期	募集時期	必要経費
交換留学	経済	アメリカ カナダ (海外協定大学)	経商計 約4名	2～4年次 8月～12月	1～3年 次1月	約60万～ 80万円
私費留学	経済	アメリカ・カナダ ニュージーランド オーストラリア他 (海外協定大学)	各大学 若干名	2～4年次 8月～12月	各学年 1月	約100万円 ～130万円
				2～4年次 2月～5月	各学年 10月	

* 必要経費は留学先大学授業料（交換留学は免除）、寮費またはホームステイ費用、食費等生活費、渡航費を含んだ概算ですが、派遣先や生活の仕方その他の条件により異なります。



商学部

【長期留学】

種別	学部	留学先	派遣人数	派遣時期	募集時期	必要経費
交換留学	商	アメリカ カナダ (海外協定大学)	経商計 約5名 含 JASSO	3年次8月 ～4年次5月	1,2年次 1月	約80万～ 110万円
交換留学	商	韓国・台湾 (海外協定大学)	約4名	3年次8月 ～4年次6月	2・3年次 4月	約70万～ 80万円

* 必要経費は留学先大学授業料（交換留学は免除）、寮費またはホームステイ費用、食費等生活費、渡航費を含んだ概算ですが、派遣先や生活の仕方その他の条件により異なります。

【中期留学】

種別	学部	留学先	派遣人数	派遣時期	募集時期	必要経費
交換留学	商	台湾・韓国 (海外協定大学)	約4名	2・3年次 2月～6月	2・3年次 10月	約40万～ 50万円
交換留学	商	アメリカ・カナダ (海外協定大学)	経商計 約4名	3・4年次 8月～12月	2・3年次 10月	約50万～ 70万円
私費留学	商	アメリカ・カナダ ニュージーランド オーストラリア他 (海外協定大学)	各大学 若干名	2～4年次 8月～12月	各学年 1月	約100万円 ～120万円
				2～4年次 2月～5月	各学年 10月	約100万円 ～120万円

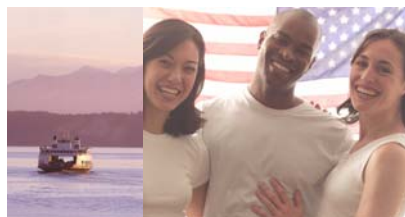
* 必要経費は留学先大学授業料（交換留学は免除）、寮費またはホームステイ費用、食費等生活費、渡航費を含んだ概算ですが、派遣先や生活の仕方その他の条件により異なります。

経済・商・外国語学部

【中・長期留学】

種別	学部	留学先	派遣人数	派遣時期	募集時期	必要経費
交換留学	経済 商 外国語	タイ・フィリピン (海外協定大学)	若干名	原則2,3年次 10月～翌3月 5月～翌3月	各学年 1月	約60万～ 80万円 (長期の場合)

* 必要経費は留学先大学授業料（交換留学は免除）、寮費、食費等生活費、渡航費を含んだ概算ですが、派遣先や生活の仕方その他の条件により異なります。



短期留学の内容

本学では、語学習得はもちろんのこと、海外を見聞することにより視野を広げることを目的に、夏、春の長期休暇を利用した短期留学（海外インターンシップ、海外実地研修、海外ボランティア・プログラム等を含む）を実施しています。ほとんどのプログラムは現在の皆さんの語学力は問わず、一部を除き全学部生の参加が可能です。

プログラムの内容・留学先は国際センター発表の各「募集概要」で確認してください。



夏休み短期留学

* 各短期留学の募集期間・留学期間・募集方法等については別紙「留学募集概要」を参照してください。

- **カナダ** ・ **オカナガン大学**短期留学 *全学部生対象
留学期間：8月初旬～9月中旬
- **イギリス** ・ **グロスターシャーカレッジ**短期留学 *全学部生対象
留学期間：2011年度は実施しません。
- **韓国** ・ **東義大学校**短期留学 *全学部生対象
留学期間：8月中旬～下旬 国内事前研修あり
- **中国** ・ **北京工業大学**短期留学 *全学部生対象
留学期間：8月中旬～下旬 国内事前研修あり
- **中国** ・ **南開大学**短期留学 *中国コミュニケーション学科生対象
留学期間：8月中旬～下旬

- **中国** ・ **インターンシップ研修** *全学部生対象
留学期間：8月中旬～下旬
- **アメリカ** ・ **ワシントン大学他短期留学**
*スポーツ健康・リハビリテーション・人間健康学部生対象
留学期間：9月初旬～中旬
- **アジア地域** ・ **現地 NGO 法人等国際文化協力実習** *国際文化協力学科生対象
留学期間：8月初旬～中旬
- **マレーシア** ・ **マレーシア航空現地訓練センター、マレーシア国民大学**
キャビンクルー研修とエアライン・イングリッシュ *外国語学部生対象
留学期間：8月初旬～下旬
- **オーストラリア** ・ **ブリスベンでのインターンシップと英語研修** *全学部生対象
留学期間：8月初旬～9月上旬

春休み短期留学

* 春期短期留学については、夏期休暇終了後、10月以降から募集を開始します。

- **タイ** ・ **コンケン大学 短期留学** *全学部生対象
留学期間 2月上旬～3月上旬
- **ニュージーランド** ・ **クライスター・カレッジ・オブ・イングリッシュ 短期留学** *全学部生対象
留学期間 2月上旬～3月下旬
- **オーストラリア** ・ **クイーンズランド大学 短期留学** *全学部生対象
留学期間 2月中旬～3月下旬
- **アメリカ** ・ **コー大学 短期留学** *全学部生対象
留学期間 2月上旬～3月下旬
- **ラオス** ・ **インターンシップ研修** *全学部生対象
留学期間 2月上旬～3月下旬
- **ポーランド** ・ **フィールドワーク** *全学部生対象
留学期間 2月中旬～2月下旬



留学プログラム一覧



☆ 短期留学 ☆

種別	留学先(予定)	対象	募集人員	期間	募集時期	参加費概算*
夏季	カナダ・サスカatoon大学 英語+アクティビティ	全学部	20名	8月初旬～ 9月中旬	4月 5月中旬	約75万円
	イギリス・GC 英語+アクティビティ		2011年度は実施しません			—
	北京・北京工業大学		15名	8月初旬～後半		約25万円
	中国 インターンシップ		2名	8月下旬～ 9月初旬		—
	韓国・東義大学校		15名	8月初旬～後半		約20万円
	中国・南開大学	中国工 学科	20名	8月初旬～中旬		約20万円
	オーストラリア 英語+インターンシップ	全学部	15名	8月初旬～ 9月初旬		約40万円
	マレーシア航空 キャビンクルー研修	英米語・ 国際文協	外国語学部エアライン講座海外研修			
	中国	エグゼク ティブコース	商学部エグゼクティブコース専用海外短期留学			
	フィリピン 国際文化協力海外実習	外語・国 際文協	外国語学部国際文化協力学科専用海外研修			
	(アメリカ研修) ワシントン大学他	リハ・ス ポ・人間	スポーツ健康・リハビリテーション・人間健康学部専用短期留学			
春季	アメリカ コー大学	全学部	15名	2月上旬～3月下旬	10月	約65万円
	タイ コンケン大学		15名	2月上旬～3月上旬		約35万円
	オーストラリア クイーンズランド大学		15名	2月中旬～3月下旬		約55万円
	ニュージーランド CCEL		15名	2月上旬～3月下旬		約60万円
	ラオス インターンシップ		15名	2月下旬～3月上旬		約20万円
	ポーランド フィールドワーク		15名	2月中旬～2月下旬		約30万円

*短期留学参加費概算には、現地授業料(研修費)、寮費またはホームステイ費用、一部食費、一部アクティビティー費用、一部現地交通費、一部現地フィールドトリップ費用、往復航空運賃等を含みますが、海外旅行保険料、パスポート・ビザ取得費用、小遣い等の個人的性質の費用は含みません。また、上記金額は概算ですので実際の参加費用とは異なります。

カナダ短期留学

<現地家庭でのホームステイ、大学研修後カナディアン・ロッキーとバンクーバー旅行実施>

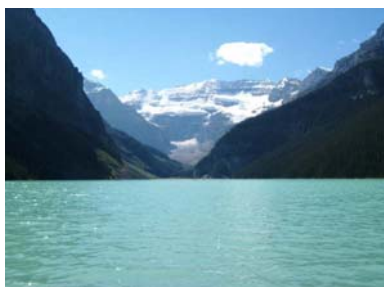
美しい湖を見下ろす丘に建つオカナガン・カレッジ

Okanagan College

- Vernon Campus -

この地方の中核大学としていくつものキャンパスを有すオカナガン大学のキャンパスの中でも特に美しいヴァーノン校が私たちの留学校です。ヴァーノン校は花の街バンクーバーから飛行機と車で約2時間、カナディアン・ロッキーにも程近いエメラルド色の湖を見下ろす丘の上にあります。湖でのモーターボート遊びや、水泳、ピクニックやキャンプ、乗馬やゴルフ、ベースボールなど抜けるような青空の下で健康的な留学生活が満喫できます。

街ぐるみで私たちを歓迎してくれるヴァーノンのホストファミリーは温かみで溢れ、遠く離れた第2の故郷の本当の家族のように感じる事ができるでしょう。ホストファミリーと一緒に、日本ではできない色々な体験をすることができます。



オカナガン大学での授業は皆さんの実力に合わせてクラス分けを行い、他の国からの留学生と共にしっかりとした実践力を養います。毎年この短期留学に参加した学生の中から多数の中期・長期派遣留学生が出ています。ほぼ毎日実施する授業後のアクティビティーは、授業で習得した英語表現を実際のコミュニケーションで使用する貴重な機会となります。アクティビティーには乗馬体験やゴルフ、カヌー体験、文化施設の訪問、屋外パーティー、キャンプや湖でのボート遊び等があります。



オカナガン大学での留学終了後は、カナディアン・ロッキー（バンフ）の大自然に触れながら様々な体験をする研修旅行と西海岸の美しい都市バンクーバーへの視察旅行も実施します。

韓国短期留学

< 基礎からの韓国語習得と韓国の文化・社会体験プログラム >

一番近い外国で異文化体験、名門『東義大学校』留学

DONG-EUI UNIVERSITY

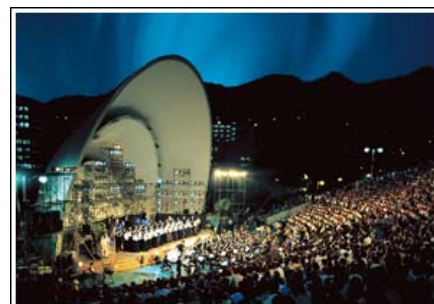
- Busan (釜山) -

釜山市の中心街からも程近い広大で美しい森の中のキャンパスには、医学部を含む9学部73専攻と大学院の116専攻のためのハイテク校舎が整然と配置されています。キャンパスのあちこちには天然の泉が湧き出し、鳥のさえずりが聞こえます。東義大学校では澄んだ水と空気を味わいながら清々しい環境の中で留学生生活を満喫できるでしょう。キャンパスの丘に上れば、眼下に有名な釜山港を望むこともでき、素晴らしい夜景も堪能できます。



この短期留学プログラムでは、韓国語初級者のための留学前事前研修を本学で実施し、留学先の東義大学校での韓国語と韓国文化体験講座が無理なく受講できるようにします。留学中は授業以外でも東義大学校の学生チューターとの活動を通じて韓国語の実践練習をすることができます。また、語学以外に韓国の文化・社会を体験学習するための様々な体験プログラムに参加することもこの留学の特長です。サムルリ(伝統音楽)やテッキョン(武道)体験、慶州宿泊視察、企業見学等も行い、研修の最後には首都ソウルの視察旅行も行います。

これまで韓国への長期交換留学生(公費)に選考された学生は皆、まずこの短期留学に参加しました。



アメリカ短期留学

< 医学の先進国における医療・スポーツ事情などを2大学を中心に視察 >

ノーベル賞受賞者を数多く輩出している
医学の名門校

Washington University

アメリカの中西部ミズリー州セントルイスにある古い歴史を持った大学です。この医学部からは、ノーベル賞医学・生理学受賞者が数多く出ています。キャンパスは幾つかの



病院や研究所を併設しており、様々な臨床実験、基礎実験が行われています。今回は、ワシントン大学医学部およびリハビリテーションの関係を中心に視察（一部実習を含む）する予定です。

セントルイスは、シカゴの南700kmくらいのところに位置し、バドワイザーの本社工場やセントルイスカーギナルスの本拠として知られています。19世紀から20世紀にかけてはミシシッピー川を利用した交易の中心地として栄え、現在、都市と周辺地域を合わせると人口200万人以上の都会です。ここでアメリカの医療について勉強します。

Iowa State University

College of Human Sciences



1858年創設、150年以上の歴史を持つ大学です。そのCollege of Human Sciencesを訪問します。米国初のランドグラント大学（政府が州へ土地を貸して作られた大学）として農学部と工学部の2学部で男女共学の大学として始まりました。アイオワ州はミズリー州の北に位置し、セントルイスの東を流れるミシシッピー川がアイオワ州の東部州境となっています。アメリカ先住民族アイオワ族から州の名前がとられました。けして人口が多い州では無いにも関わらず、アメリカ大統領選挙において最も重要な州と捉えられており、候補者が最初に演説する地としても知られています。大学は州都Des Moines(デモイン)の北、車で1時間弱のところにあるAmes(エイムス)という町にあります。

●夏季中国・南開大学 短期留学

＊中国コミュニケーション学科生対象

中国コミュニケーション学科生を対象に中国・天津の南開大学で短期留学を実施します。南開大学は周恩来の母校として有名な国家重点大学の一つです。留学期間中は全期間大学の留学生寮に宿泊し、1



日3時間、週15時間の漢語集中講義を受講する他、中国の文化、歴史の学習のため、近隣地区へのフィールドトリップや文化学習を行います。この短期留学には例年、学年を問わず多数の中国コミュニケーション学科生が参加しており、人気の高いプログラムとなっています。

短期留学最後には北京旅行も実施します。この短期留学にはまた、中国特別留学（中期）プログラム参加の1年次生は必ず参加します。

●夏季 オーストラリア 全学部生対象

インターンシップ+英語研修



オーストラリアでのインターンシップ（就業体験やボランティア活動）に加えて、オーストラリア・クイーンズランド州政府立のサウバンク・インスティテュート・オブ・テクノロジーにて英語研修を受講します。また、全期間をとおしてブリスベンの現地家庭にホームステイするため、学校と職場（インターンシップ先）、そしてホームステイ先のコミュニティの3カ所でオーストラリアの人々との交流の輪を広げることができる楽しく欲張りなプログラムです。



研修地のブリスベンは洗練された大都会でありながら、美しいブリスベン川を中心に街が発達しているため、心安らく景色が広がっています。また、亜熱帯気候のため年間をとおして温暖で、南半球は私たちが訪れる8月は冬ですが、ブリスベンでは寒い日は少ないようです。週末にはゴールドコーストを訪れるプログラムも用意されています。



インターンシップは、オーストラリアの観光地ならではの会社や施設で研修を受けることができます。旅行会社や国際交流団体のスタッフ、幼稚園や学校のアシスタント、環境保護活動や有名なローンパインパークでのコアラやカンガルーの飼育スタッフなど、皆さんの希望に沿った職種の実験ができます。この貴重な海外でのインターンシップ体験は、皆さんが就職活動をしたり社会人として活躍する際の大きなプラスとなることでしょう。

マレーシア航空 キャビンクルー研修



航空業界へ就職を希望する方のみならず、将来旅行業や接客業に関わりたい方にもお勧めの研修です。外国語学部生対象、男女とも参加できます。

あこがれのキャビンクルーとして、クアラルンプール国際空港内のマレーシア航空トレーニングセンターでエアライン実習を受けてください。宿泊も訓練生が利用する施設内となります。マレーシア航空制服を着用し、化粧の仕方（女性のみ）、ミールサービスを含む機内サービス、機内でのアナウンス、緊急時の脱出訓練等を行います。日本人の現役キャビンアテンダントから、みなさんに貴重なアドバイスが与えられることも特徴です。



マレーシア航空での実地研修に先立ち、名門マレーシア国民大学においてエアライン・イングリッシュを含めたビジネス英語研修を実施します。マレーシア国民大学では寮に滞在しながら、航空業界やグローバルビジネスの世界では必ず必要となるビジネス英語の運用能力をしっかりと養ってください。滞在中の週末を利用してクアラルンプール市内の研修・世界遺産のマラッカでの研修も実施します。

●夏季 国際教育交換協議会主催

国際ボランティア・プロジェクト



国際ボランティア
プロジェクト

International Volunteer Projects

世界中から集まった仲間達と、世界約 30 カ国にて 2~3 週間一緒にボランティア活動を行います。ボランティアプロジェクト内容は環境保護、お城や教会の修復や修繕、子供と遊ぶ、海ガメの保護等、たくさんの種類があります。

このプロジェクトの目的は、ボランティア活動をするだけでなく、世界中の仲間と寝食や生活を共にしながら、お互いの文化を学び、自分自身の視野を広げることにあります。このボランティアプロジェクトを通じて、みなさんはきっと「自分だけのオリジナル体験」と出会えるでしょう。

参加者に単位認定! (一部の学部を除く)

(単位認定を受けるためには、CIEEへの参加申込時に本学国際センターへの国際ボランティアプロジェクト参加申請・単位認定申請をおこなってください。)

プロジェクト実施国、地域

27 カ国・約 700 プロジェクト (2009 年度実績)

- | | |
|-----------|---------------------------------------|
| <北ヨーロッパ> | アイスランド、デンマーク、フィンランド、イギリス |
| <南ヨーロッパ> | イタリア、スペイン、ギリシャ、セルビア、モンテネグロ |
| <西ヨーロッパ> | フランス、ドイツ、オーストリア、ベルギー、スイス、オランダ |
| <東ヨーロッパ> | チェコ、ポーランド、トルコ、ウクライナ、エストニア、リトアニア、アルメニア |
| <北中米・アジア> | アメリカ、メキシコ、インドネシア、ベトナム、韓国 |

国際ボランティア・プロジェクト参加希望者は、プロジェクト説明会に参加し、CIEE発行のパンフレットとCIEEのホームページを参照し、申し込み手続きを進めてください。

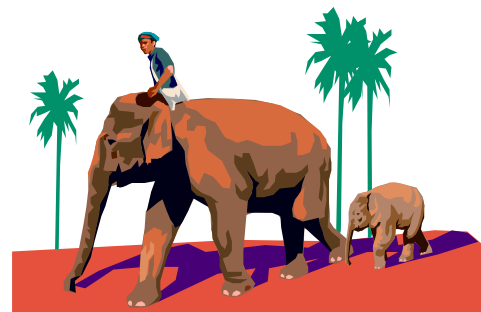
● 春休み タイ 短期留学 全学部生対象

英語 + タイ語 + 異文化交流

KHON KAEN UNIVERSITY มหาวิทยาลัยขอนแก่น



コンケン大学は17学部を有するタイ東北部最大の総合大学です。このコンケン大学で、約3週間の英語、タイ語（入門）、東南アジア事情研究等の講義を受講する他、現地学生との交流も活発に行われます。コンケン大学での英語の授業は少人数クラスで行われ、英語のネイティブスピーカーが担当します。また、タイの学生の英語力はきわめて高く、現地学生とのディスカッションや交流は英語によるコミュニケーション能力を高める絶好の機会となります。日本語または英語を勉強中のコンケン大学の学生さんが私たちのチューターとなるため言語の相互学習ができる他、留学中の生活面でもお互いの交流を深めることができます。礼儀正しく優しいタイの同年代の学生さんとは生涯の友人関係を構築できるでしょう。なお、コンケン大学での宿泊は快適な学内のホテルとなります。コンケン大学での研修終了後、タイ各地の名所・旧跡を巡る研修旅行も用意されています。



ニュージーランド 短期留学



現地家庭でのホームステイを楽しみながら、名門カンタベリー大学のキャンパス内で同大学の留学生英語教育を担うカレッジのしっかりとした英語教育を受ける



爽やかな 夏のニュージーランド南島、
家々の庭に花が溢れる
ガーデンシティでホームステイ留学



Christchurch College of English

- on the University of Canterbury campus -



ガーデンシティの愛称をもつ、ニュージーランド南島の美しく洗練された中核都市「クライストチャーチ」。私たちがホームステイ留学をするクライストチャーチ・カレッジ・オブ・イングリッシュ（通称 CCEL）はクライストチャーチ市内の静かな住宅地に広大なキャンパスが広がる名門カンタベリー大学の教育学部キャンパスの中にあります。多数の明るい講義室と、図書室、パソコン室等が中庭に面して配置された CCEL 専用のハイテク校舎に加え、カンタベリー大学内の図書館、食堂、スポーツ施設等をカンタベリー大学の学生と同じように使用することができます。

CCEL の授業と実習では、英語でのコミュニケーション能力の養成を中心に、実践的な「聞く・話す・読む・書く」技能を効率よく習得することができます。少人数制の細かくレベル分けされたクラスでは、世界各国から集った留学生達と交流しながら楽しく真剣に学びます。



また、このプログラムでは全期間現地のホストファミリーの家庭に滞在します。優しく家族の一員として迎え入れてくれるホストファミリーとの交流をとおして、かけがえのない生涯の絆をつくることができるでしょう。教室ではもちろん、帰宅してからも全て英語でコミュニケーションをとることになる理想的な環境で、楽しみながらおもいっきり上達しましょう。

オーストラリア 短期留学



現地家庭でのホームステイを楽しみながら、クイーンズランド州で最も由緒あるクイーンズランド大学の充実した英語教育を受ける

太陽の降り注ぐ暖かな都

オーストラリア第3の都市でホームステイ留学

The University of Queensland

- Brisbane, Australia -



ブリズベン川沿いに開けたオーストラリア第3の都市・ブリズベンは、緑の木々や花が咲き乱れ「水と緑の街」と呼ばれています。また、歴史的建造物と近代的な建物が違和感なく立ち並び、大自然の中の都会という風情を漂わせ、明るく親しみやすい雰囲気です。世界的な観光地であるゴールドコーストにも程近く、週末などに美しいビーチでのマリンスポーツなども簡単に楽しむことができます。

私たちがホームステイ留学をするクイーンズランド大学(UQ)は、クイーンズランド州で最初の大学として創立された7学部32学科を擁す由緒ある名門大学です。広大な3つのキャンパスがありますが、ESL英語の授業を受けるのはメインキャンパスのセントルキア・キャンパスです。レベル別のクラスに分れ、学生一人ひとりのニーズに合った授業を世界各国から集った留学生と共に受けることができます。短期留学期間中 UQ では任意で参加できる様々なアクティビティも企画され、授業後の学内でのスポーツやBBQパーティー、週末の旅行や船上クルーズパーティーなどにも参加することができます。



また、このプログラムでは全期間現地のホストファミリーの家庭に滞在します。優しく家族の一員として迎え入れてくれるホストファミリーとの交流をとおして、かけがえのない生涯の絆をつくることができるでしょう。教室ではもちろん、帰宅してからも全て英語でコミュニケーションをとることになる理想的な環境で、楽しみながら英語とコミュニケーション能力をおもいっきり上達させましょう。そしてプログラムの最後にはシドニー旅行があります。ブリズベンとはまた違う大都会の魅力を楽しむことができるでしょう。

アメリカ 短期留学



アメリカ第3の大都市シカゴからも程近いアメリカの中西部らしい緑豊かで静かな街、アイオワ州シーダーラピッズ市。私立の名門教養大学「COE（コー）大学」で、アメリカ内外からやってきた優秀な学生と共に学生寮生活を送りながら、アメリカの大学生としてカレッジライフを満喫します。



大平原に吹く大地の風を肌を受け、
アメリカの大学生になりきろう！

COE College

- コー大学 -



留学先は、ケヴィン・コスナー主演の名作『フィールド・オブ・ドリームス』やクリント・イーストウッドとメル・ストリープの『マディソン郡の橋』などの舞台で、実際の映画のロケ地になった場所にも程近いおおらかな「アメリカ」を実感できるアイオワ州の名門教養大学「コー大学」です。『US ニュース&レポート』誌でも全米のベスト大学の一つに挙げられています。コー大学の ESL 英語プログラムについても国際的に定評があり、現在の語学力がどのレベルの学生にも100パーセント満足のいく楽しい実践的な授業と実習を提供しています。一度でも授業を受けた学生はその質の高さに驚嘆します。

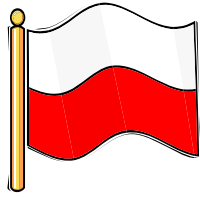
アメリカの大学では自宅から通学する学生は少なく、男女共ほとんどの学生が学生寮で寄宿生活をしています。私たち留学生もコー大学では学生寮に滞在し、基本的にアメリカ人または日本以外の正規留学生と同室になることにより、寮内での友人の輪がすぐに広がります。教室で学んだことをアメリカ人の友人との会話の中ですぐ使ってみましょう。授業プログラム以外にも、地元の高校を訪問し日本の文化や遊びを高校生に紹介したり、大学や地域の人達とのスポーツの練習や大会に参加したりと、さまざまな文化社会体験アクティビティーやフィールドトリップにも参加します。留学期間途中の一週間の休暇には参加者がグループに分かれて旅行計画をたて、シカゴやニューヨーク、その他の地域へ旅行に出かけるプログラムもあります。





家本先生と巡る ショパンの国

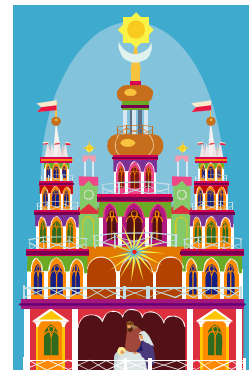
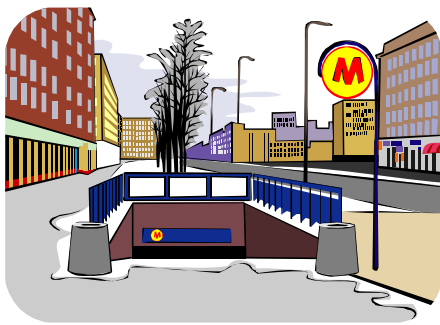
ポーランド フィールドワーク



- ポーランドの専門家、家本先生の引率のもと、ポーランドの歴史や文化を学習するのみでなく、現地日系工場の訪問、更には現地学生たちとの交流を通じて現代のポーランドを体感できる幅広い内容の研修を行います。またアウシュビッツ・ビルケナウ博物館では、政府公認ガイドの中谷剛さんによる案内もあります。
- 2単位が修得できます



今回の研修では、世界遺産に登録されている3都市に滞在します。まず南西部で千年以上の歴史を誇るヴロツワフに3泊し、著名な建築物を中心に見学します。近郊のトヨタ工場見学も行います。続いてかつてのポーランド王国の王都であったクラクフに5泊します。今もなお中世ヨーロッパを感じ取れる旧市街地だけでなく、近郊のアウシュビッツ・ビルケナウ博物館、チェーンホーヴァ市も訪問します。最後はポーランド国有鉄道PKPを利用して首都ワルシャワに向います。北のパリと称される美しい町並みを歩くだけでなく、現地2大学へも訪問し学生たちとの交流も図ります。更にはさよならパーティーも開催し、充実した2週間の見学を締めくくります。





ラオス ▶ インターンシップ

ラオスの首都ビエンチャンにて日系企業・NGO訪問と作業体験を行ったり、郊外の農村を訪問したり、王子製紙の行っている植林活動も体験できる幅広い内容の研修です



NGO・日系企業の訪問、ラオス日本センターで学ぶ学生との交流を行います。さらにはビエンチャン近郊の農村に訪問し、お互いの文化を体験しあう企画を予定しています。農村内にある小学校へ訪問し、交流を深めてもらいます。ラオスの自然の豊かさ・人々の暖かさを実感できる研修となっています。

留学支援

◆長期交換留学生に対する事前研修プログラム

アメリカ・カナダへの長期派遣留学生が留学先での勉学や生活に対応する能力を培うためにアイオワ州のCoe大学で事前研修プログラムを実施します。この事前研修プログラムのCoe大学授業料は本学が負担します。

《コー大学でのオリエンテーション・プログラム》

アメリカとカナダの協定大学への長期派遣留学生は、各派遣先大学へ出発する前にアメリカ・アイオワ州のコー大学で2週間程度のオリエンテーションを行います。ライティング、リーディング、コミュニケーションの集中講義をアメリカ国内でも定評のあるコー大学のESLで学ぶ他、アメリカでの実際の生活を通じ、留学適応能力を磨きます。

◆留学奨励金

派遣留学生への経済的援助のため、長期交換・公費留学生および中期交換留学生に対し留学奨励金を支給します（下表は2009年度実績です。）

長期交換（公費）英語圏	400,000円
同 中国・韓国	300,000円
同 タイ・フィリピン・台湾	300,000円
中期交換留学 英語圏	200,000円
同 韓国	150,000円
同 台湾	150,000円



留学のための語学能力試験

TOEFL® (トフル) Test of English as a Foreign Language

英語を母国語としない学生のための英語力判定テストです。主にアメリカ、カナダの大学、短大の志願者が、入学に必要とされる英語力が適正かどうかの判定に用いられます。正規の TOEFL 試験はコンピュータ化されています（資料は TOEFL ホームページ参照）。
 本学の英語圏中期・長期留学生選考において、学内で年10回実施している、**TOEFL-ITP** 試験（Institutional Testing Program ペーパー式）が対象となります。

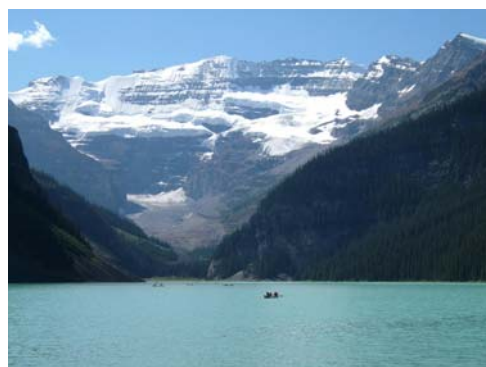
HSK® (漢語水平考試)

中国政府教育部が認定している中国語能力認定試験で、試験の種類は大別して「基礎」「初等・中級」「高等」の3つに分かれています。日本では5月、10月の年2回実施されます。中国の大学に留学する場合試験の結果により発行される資格証明書の提示を求められることもあります。本学では中国語学科の長期留学生選考の資料となるので、受験を勧めます。

TOEFL® (トフル) 2011 年度本学 ITP 試験実施スケジュール

回	申込締切日	実施日	集合時間	開始時間	会場	受験料
1	4月13日(水)	5月11日(水)	15:00	15:15	曙 201 教室	¥3,260
2	5月12日(水)	6月8日(水)	15:00	15:15	曙 201 教室	
3	6月8日(水)	7月6日(水)	15:00	15:15	曙 201 教室	
4	9月7日(水)	10月5日(水)	15:00	15:15	曙 201 教室	
5	10月5日(水)	11月9日(水)	15:00	15:15	曙 201 教室	
6	11月9日(水)	12月7日(水)	15:00	15:15	曙 201 教室	
7	1月11日(水)	2月8日(水)	15:00	15:15	曙 201 教室	

2011年度の試験会場は全回白鳥曙館 **201 教室** の予定です。
 本スケジュールは変更されることがあります。変更の際はCCS等でご案内します。
 TOEFL-ITPの開始時刻は15:15(予定)です。
15:00 までに入室するようにしてください。
 受験料は各回 **¥3,260** です。



名古屋学院大学海外協定校一覧(短期留学についての協定校を含む)

	地域	国名	英語名称	日本語名称	州・市
1	アジア	中国	PEKING U	北京大学	北京
2		中国	BEIJING NORMAL U	北京師範大学*	北京
3		中国	HENAN FINANCE AND ECONOMICS U	河南財経学院大学	河南
4		中国	NANJIN U	南京大学	南京
5		中国	NANKAI U	南開大学*	天津
6		中国	NORTHWEST U	西北大学	西安
7		中国	TIANJIN FOREIGN STUDIES U	天津外国語学院大学*	天津
8		中国	BEIJING U OF TECHNOLOGY	北京工業大学	北京
9		中国	EAST CHINA NORMAL U	華東師範大学*	上海
10		中国	BEIJING FOREIGN STUDIES U	北京語言大学*	北京
11		台湾	CHINESE CULTURE U	中国文化大学*	台湾
12		台湾	NATIONAL U OF KAOHSIUNG	国立高雄大学*	台湾
13		韓国	DONG-EUI U	東義大学校*	プサン
14		韓国	YONSEI U	延世大学	ソウル
15		韓国	KWANDONG U	関東大学校*	カンナムドゥ
16		タイ	KHON KAEN U	コンケン大学*	コンケン
17		フィリピン	ATENEO DE MANILA U	アテネオデマニラ大学*	マニラ
18		フィリピン	U OF THE PHILIPPINES	フィリピン大学*	マニラ
19	北米	カナダ	BROCK U	ブロック大学	トロント
20		カナダ	OKANAGAN C	オカナガン大学*	ケロウナ
21		カナダ	KWANTLEN U C	クワントレン大学*	バンクーバー
22		カナダ	GRANT MCEWAN U	グラント・マキーワン大学*	エドモントン
23		カナダ	ALGOMA U	アルゴーマ大学*	スーサンマリ
24		カナダ	GEORGE BROWN COLLEGE	ジョージ・ブラウン大学	トロント
25		アメリカ	U OF ALASKA FAIRBANKS	アラスカ大学フェアバンクス校*	アラスカ
26		アメリカ	ALASKA PACIFIC U	アラスカパシフィック大学	アラスカ
27		アメリカ	BENEDICTINE U	ベネディクティン大学	イリノイ
28		アメリカ	ILLINOIS STATE U	イリノイ州立大学*	イリノイ
29		アメリカ	NORTH CENTRAL C	ノースセントラル大学*	イリノイ
30		アメリカ	U OF EVANSVILLE	エバンズビル大学	インディアナ
31		アメリカ	COE C	コー大学*	アイオワ
32		アメリカ	KALAMAZOO C	カラマズー大学	ミシガン
33		アメリカ	MADONNA U	マドンナ大学*	ミシガン
34		アメリカ	WESTERN MICHIGAN U	ウェスタンミシガン大学	ミシガン
35		アメリカ	U OF NORTH CAROLINA AT WILMINGTON	ノースキャロライナ大学 ウィルミントン校*	ノースキャロライナ
36		アメリカ	PACIFIC U	パシフィック大学*	オレゴン
37		アメリカ	U OF MEMPHIS	メンフィス大学*	テネシー
38		アメリカ	AUSTIN C	オースティン大学	テキサス
39		アメリカ	INDIANA U OF PENNSYLVANIA	ペンシルバニア・インディアナ大学*	ペンシルバニア
40		アメリカ	RANDOLPH-MACON C	ランドルフ・メイコン大学*	バージニア
41		アメリカ	MINNESOTA STATE U MOORHEAD	ミネソタ州立大学 モアヘッド校*	ミネソタ

42	北米	アメリカ	U OF CALIFORNIA, SANTA CRUZ	カリフォルニア大学 サンタクルーズ校	カリフォルニア
43		アメリカ	BOWLING GREEN STATE U	ボーリンググリーン州立大学*	オハイオ
44		アメリカ	U OF TOLEDO	トリード大学	オハイオ
45		アメリカ	U OF IOWA	アイオワ大学	アイオワ
46		アメリカ	FERRIS STATE U	フェリス州立大学	ミシガン
47		アメリカ	FAIRLEIGH DICKINSON U	フェアレイディキンソン大学	ニュージャージー
~ 70		アメリカ	US. UMAP加盟大学23校		アメリカ・ユーマップ(23校)
71	オセアニア	オーストラリア	MACQUARIE U	マコーリー大学	シドニー
72		オーストラリア	U OF NEW ENGLAND	ニューイングランド大学*	シドニー
73		オーストラリア	QUEENSLAND U	クイーンズランド大学*	ブリスベン
74	ニュージーランド*	CHRISTCHURCH C OF ENGLISH		クライストチャーチ・カレッジ・ オブ・イングリッシュ*	クライストチャーチ
75	ヨーロッパ*	イギリス	CLOUCESTERSHIRE C	グロスターシャー大学*	チェルトナム

* 印 = 近年の留学生交流が特に活発に行われている大学。

※ 各協定大学のホームページには本学国際センターのホームページからリンクしています。

名古屋学院大学ホームページ <http://www.ngu.jp/>



名古屋学院大学国際センター

〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町 1-25

TEL 052-678-4093

FAX 052-682-6824

Nagoya Gakuin University

International Center

1-25 AtsutaNishi-machi, Atsuta-ku, Nagoya 456-8612 Japan

Int'l Phone +81-52-678-4093

Facsimile +81-52-682-6824

e-mail kouryuu-center@ngu.ac.jp